

航空自衛隊仕様書			
仕様書の種類	内容による分類	装備品等仕様書	
	性質による分類	個別仕様書	
物品番号		仕様書番号	
品名 又は 件名	警衛業務用防寒服	4補LPS-D84172-9	
		作成	平成25年 8月 2日
		改正	令和 7年 1月14日
			令和 7年 7月14日
作成部隊等名	第4補給処		

1 総則

1.1 適用範囲

この仕様書は、警衛業務非常勤隊員が着用する警衛業務用防寒服の調達について規定する。

1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる主な用語及び定義は、引用文書等による。

1.3 区分・種類

区分・種類は、表1 によるほか、調達する区分、種類及び数量は、調達要領指定書に示す。

1.4 構成

“警衛業務用防寒服，上衣”の構成は、本体及びライナーとする。

1.5 製品の呼び方

製品の呼び方は、表1 の区分及び種類による。

例 警衛業務用防寒服，上衣，1号

警衛業務用防寒服，ズボン，2号

1.6 引用文書等

1.6.1 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

なお、次の文書に定める内容が、この仕様書に定める内容と相違する場合は、法令等を除き、この仕様書に定める内容が優先する。

JIS L 0842 紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 0844 洗濯に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 0849 摩擦に対する染色堅ろう度試験方法

JIS L 1030-1 繊維製品の混用率試験方法—第1部：繊維鑑別

JIS L 1030-2規格群 繊維製品の混用率試験方法（繊維混用率）

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

- JIS L 1092 繊維製品の防水性試験方法
- JIS L 1094 織物及び編物の耐電性試験方法
- JIS L 1096 織物及び編物の生地試験方法
- JIS L 2511 ポリエステル縫糸
- JIS S 3015 スライドファスナ
- JIS Z 8721 色の表示方法—三属性による表示
- NDS Z 0001 包装の総則
- NDS Z 8011 角形銘板

1.6.2 関連文書

- NDS L 0101 縫製用語
- NDS L 0102 縫製要領

2 製品に関する要求

2.1 材料

材料は、表2 による。

2.2 加工

2.2.1 裁断

裁断は、次による。

- a) 雨ぶたは、身ごろに布目を合わせるほか、斜め裁ちは行わない。
- b) はぎ裁ちは、行わない。

2.2.2 縫製要領

2.2.2.1 一般要領

一般要領は、次による。

- a) 各部の縫い代は、原則として1 cm以上とする。
- b) 針数は、2.5 cm間の表面に現れた縫い目とし、地縫い及び飾り縫いは10針以上、オーバーロック縫いは、8 針以上とする。
- c) 縫い始め及び縫い終わりは、完全に返し縫いを行う。
- d) 縫い飛び及び縫い外れがなく、縫い目曲がりが目立ってはならない。
- e) 飾り縫いは、端から0.5 cmとする。

2.2.2.2 縫製細部要領

縫製細部要領は、表5 ～表7 によるほか、図1 及び図2 による。

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

2.3 形状・寸法・外観

2.3.1 形状

2.3.1.1 本体

本体は、**図1** によるほか、次による。

- a) ハーフコートタイプ，開襟及びステン襟兼用ダブル形とする。
- b) 本体裏は，キルティングの総裏とする。
- c) 前面は，スライドファスナ及びドットボタンによる開閉式とする。
- d) 本体内側は，スライドファスナによって，ライナーの取付けが可能である。
- e) 襟部に，襟ボアの取付けが可能である。
- f) 脇部に，開閉用のダブルスライダー付きスライドファスナを取付ける。

2.3.1.2 ライナー

ライナーは，**図2** によるほか，保温材を裏地で挟み，キルト掛けする。

2.3.1.3 ズボン

ズボンは，**図2** によるほか，次による。

- a) 前立て及び脇裾は，スライドファスナによる開閉式とする。
- b) ズボン裏は，キルティングの総裏とする。

2.3.2 寸法

寸法は，**表5**～**表10**及び**図2** による。

2.3.3 外観

外観は，仕上がりが良好で，傷，汚れ，その他の欠点があってはならない。

2.4 製品の表示

製品の表示は，次による。

- a) 銘板は，**図3** による。また，**図1** 及び**図2** に示す位置に縫い付ける。
- b) 銘板の枠及び記載事項は，黒（にじみ及び退色しにくいもの）を用いて鮮明に押印又は印刷する。
- c) 銘板の用字及び書体は，**NDS Z 8011**による。
- d) 銘板の寸法許容差は， ± 0.5 cmとする。

3 監督・検査

監督・検査は，分任支出負担行為担当官（以下，“分支担当”という。）の定める監督及び検査実施要領による。

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

4 出荷条件

4.1 包装

包装は、商慣習とする。

4.2 外装の表示

外装の表示は、NDS Z 0001の箇条5による。また、次の事項を見やすい箇所に表示する。

- a) 調達要求番号
- b) 物品番号
- c) 品名（製品の呼び方）
- d) 数量
- e) 納入年度
例 2024年度
- f) 製造者名（若しくはその略号）又は納入者名（若しくはその略号）

5 その他の指示

5.1 承認用見本

契約の相手方は、製作に先立ち、製品1着を分支担当官に提出し、外観、形状、寸法及び色について承認を得る。ただし、分支担当官から承認を得た実績がある契約の相手方は、仕様に変更がない場合、提出を省略することが可能である。

5.2 その他必要な事項

その他必要な事項は、次による。

- a) 製造（織布、染色、縫製、その他の特殊加工及び再生ポリエステル混紡）は、日本国内において行う。
- b) 契約の相手方が作成した図面等に基づいて製造した主材料及び製品が、第三者（契約の相手方の下請負者を除く。）に入手又は複製されることのないよう管理・保管する。
なお、製造した主材料及び製品が、第三者に流出する等の事故が発生又はそのおそれがある場合、適切な措置をとるとともに、速やかに、分支担当官を通じて、要求元に報告する。
- c) b)について、契約後、速やかに、管理規定を作成し、分支担当官を通じて、要求元の確認を受ける。ただし、要求元の確認を受けた実績のある契約の相手方は、管理規定に変更がない場合、これを省略することが可能である。
- d) 下請負者がある場合は、契約の相手方と下請負者との間で、c)の管理規定に基づく取決めを行い、分支担当官を通じて、要求元の確認を受ける。

5.3 仕様書の疑義

この仕様書について疑義がある場合は、分支担当官を通じて要求元と協議する。

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

表1-区分・種類

区分	種類 ^{a)}	物品番号
警衛業務用防寒服, 上衣	特号	8415-427-8826-5
	1号	8415-427-8827-5
	2号	8415-427-8828-5
	3号	8415-427-8829-5
	4号	8415-427-8830-5
	SS	8415-427-8831-5
警衛業務用防寒服, ズボン	特号	8415-427-8832-5
	1号	8415-427-8833-5
	2号	8415-427-8834-5
	3号	8415-427-8835-5
	4号	8415-427-8836-5
	SS	8415-427-8837-5
注 ^{a)} “SS” は, 特別サイズを示す。		

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

表2-材料

項目	規定		用途
表生地	表3による。		本体, ズボン
裏生地	表4による。		本体裏, ズボン裏, ライナー
袋地	ポリエステル 65%±5%	レーヨン 35%±5%	本体腰ポケット, ズボンポケット
芯地	不織布芯		襟, 雨ぶた, 玉縁
ボア	アクリルパイル, パイル長10 mm以上 色: 黒		襟ボア
ジャージ	ナイロン 色: 黒		中袖口
保温材	ポリエステル100%	質量60 g/m ² 以上	裏地
		質量120 g/m ² 以上	ライナー
		質量90 g/m ² 以上	ズボン
スライドファスナ	JIS S 3015 L級 ポリアセタール製	表8の本体による。	本体前開閉用
	JIS S 3015 L級 ポリエステル製	表10のライナーによる。	ライナー取付用
		長さ20 cm	ズボン前立用
	JIS S 3015 M級 ポリエステル製	長さ47 cm	本体脇開閉用
JIS S 3015 L級 ポリエステル製	長さ34 cm	ズボン裾脇開閉用	
ドットボタン	黄銅製, 頭部銀色つや消し	頭部直径20 mm	本体前立て
		頭部直径15 mm	ズボン前合わせ
樹脂ボタン	尿素樹脂製, 直径15 mm		襟ボア取付
ゴム	上タックゴム, 黒, 幅25 mm		ライナー胴絞り
	上タックゴム, 白, 幅30 mm		ズボン腰帯
	コールゴム, 黒, 幅4 mm		襟ボア取付
バイアステープ	ナイロン100%		縁巻き用
銘板	綿#40ブロード, 白色, 裏面樹脂加工		製品表示用, 氏名用
縫い糸	JIS L 2511 ポリエステル糸	#50	本縫い
		#80	ロック縫い

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

表3—表生地

項目		規定		
混用率		静電防止ナイロン100% ^{a)}	JIS L 1030-1及びJIS L 1030-2規格群による。	
織度	たて	78 dtex	JIS L 1096のA法による。	
	よこ			
組織		3/1あや織		
幅		92 cm以上		
質量		105 g/m ² 以上		
密度 本/2.54 cm	たて	245本以上 ^{a)}		
	よこ	115本以上		
寸法変化	たて	±2.0%以内		JIS L 1096のD法による。
	よこ			
引張強さ	たて	1 568 N以上		JIS L 1096のA法（ラベルドストリップ法）による。
	よこ	735 N以上		
防水度	耐水度	800 mm以上	JIS L 1092のA法による。	
	撥水度	4級以上	JIS L 1092のスプレー試験による。	
色		黒	標準色相は、JIS Z 8721の色相 (H) : -, 明度 (V) :1.7, 彩度 (C)0.5とする。	
染色堅ろう度	洗濯	変退色	4級以上	JIS L 0844のA-1号による。
		汚染		
	摩擦	JIS L 0849の摩擦試験機Ⅱ形の乾燥試験による。		
耐光	JIS L 0842による。			
摩擦帯電電荷量		7 μC/m ² 以下	JIS L 1094のC法による。	
注^{a)} 縦糸に導電性繊維を含むほか、織込み間隔は均等とする。				

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

表4－裏生地

項目		規定		
混用率		静電防止ナイロン100% ^{a)}	JIS L 1030-1及びJIS L 1030-2規格群による。	
織度	たて	78 dtex	JIS L 1096のA法による。	
	よこ			
組織		平織		
幅		117 cm以上		
質量		63 g/m ² 以上		
密度 本/2.54 cm	たて	115本以上 ^{a)}		
	よこ	85本以上		
寸法変化	たて	±2.0%以内		JIS L 1096のD法による。
	よこ			
引張強さ	たて	637 N以上		JIS L 1096のA法（ラベルドストリップ法）による。
	よこ	539 N以上		
色		濃グレー	—	
染色堅ろう度	洗濯	変退色	4級以上	JIS L 0844のA-1号による。
		汚染		
	摩擦	JIS L 0849の摩擦試験機Ⅱ形の乾燥試験による。		
耐光	JIS L 0842による。			
摩擦帯電電荷量		7 μC/m ² 以下	JIS L 1094のC法による。	
注^{a)} 生地縦方向に導電性繊維を含むほか、織込み間隔は均等とする。				

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

表5—縫製細部要領（本体）

項目	縫製細部要領
全般	許容差は、明示するものを除き、±1 cmとする。
前身ごろ及び見返し	<ol style="list-style-type: none"> 七分丈とする。また、ダブル前6つボタンとし、ボタン間隔は、表8による。 返り襟丈は、表8によるほか、幅は10 cmとし、前端は地縫い返し飾り縫いとする。 前開閉用スライドファスナは、第一ボタンから第三ボタンの位置までとし、上前は見返し奥に裏地と挟み縫い、下前は下前端と見返しに挟み縫いする。 見返し幅は、第一ボタン位置で17 cm、裾部で16 cmとする。 ライナー取付用スライドファスナを、見返しと裏地の間に挟み込み縫いする。
襟及び襟付け	<ol style="list-style-type: none"> 上襟は、地縫い返し飾り縫いとする。 上襟の襟幅は、中央で6.5 cm、襟先で8 cm、襟腰は中央で4 cmとし、表と裏の襟腰はそれぞれ別に上襟及び襟裏と地縫い片倒し端縫いとする。 襟付けは、身ごろと裏地を挟み縫いする。 襟付け中央部に幅1 cm（許容差±0.5 cm）、長さ6 cmの襟吊りを縫い付ける。 襟付け内側部に襟ボア取付用樹脂ボタン5個と、襟ボアの穴かがりに対応する位置に樹脂ボタンを3箇所取付ける。
襟ボア	<ol style="list-style-type: none"> 表地は、上部を袋状にし、折り返し縫い止める。 表地にボアを合わせて地縫いした上、下辺に固定用ゴム（ボタン掛け用）5本を輪にして挟み縫いし、更に下辺で返し、とじ縫いする。 上部袋布下辺に3箇所穴かがりをする。
腰ポケット	<ol style="list-style-type: none"> 雨ぶた付き片玉縁切りポケットとする。 雨ぶたは、幅18 cm、丈7.5 cm、周囲は地縫い返し飾り縫いとする。 口幅2 cm（許容差±0.5 cm）の片玉縁とし、口両端は本縫いミシンかんぬきとする。 袋地は地縫い片倒しする。 向当て布側は表地を袋地とし、袋の周囲は二条縫いする。
脇縫い	<ol style="list-style-type: none"> 両脇の下部に脇縫いを利用し、脇開閉用スライドファスナを縫い付ける。 ファスナ付けは、表地と裏地に挟み込み縫い、ファスナ長さは47 cmとする。 片玉幅は1 cm（許容差±0.5 cm）の突き合わせ、脇縫いの表地は地縫い返し飾り縫いとする。
背縫い	<ol style="list-style-type: none"> 表地は、センターベンツ上部まで、地縫い片倒し飾り縫いとする。 裏地は地縫い片倒しとする。

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

表5—縫製細部要領（本体）（続き）

項目	縫製細部要領
袖	<ol style="list-style-type: none"> 1 袖は二枚袖とし、内袖縫いは地縫い片倒しする。 2 外袖は地縫い片倒し飾り縫いとする（外袖高）。 3 裏地は一枚袖とし、地縫い片倒しとする。 4 袖口は身ごろを内側に折り裏地を挟み、幅2 cm（許容差±0.5 cm）の三つ折り縫いをする。 5 袖口から17 cm奥に裏地をダブルにした中袖を縫い付ける。 6 中袖口には長さ6 cmのジャージを中袖に挟み込み縫いする。 7 ジャージは袖口から2 cm（許容差±0.5 cm）控える。
袖付け及び肩縫い	表地は地縫い片倒し飾り縫いをし、裏地は地縫い片倒しとする。
裾口	幅3 cm（許容差±0.5 cm）の三つ折り縫いとし、裏地は裾三つ折り縫いに十分挟み込む。
センターベ ンツ	<ol style="list-style-type: none"> 1 センターベーツ丈は表8による。 2 内合わせ幅は6 cm、上前ベーツ端は、背縫いを通して飾り縫いする。 3 上前の折り返し幅は6 cmとし、奥は裏地と地縫い片倒し端縫いとする。 4 下前は裏地と地縫い返し飾り縫いとする。

表6—縫製細部要領（ライナー）

項目	縫製細部要領
脇縫い、肩縫い 及び周囲縫い	<ol style="list-style-type: none"> 1 地縫いロック掛けとし、幅6 mmの飾りミシン掛けとする。 2 他の裁ち目は、上がり幅10 mmのバイアステープ巻とする。
身ごろ	脱着用ファスナを身ごろ周囲端から8 mm控えた位置に取付ける。
裾	裾部には幅2.5 cmのゴムを二条で縫着する。

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

表7—縫製細部要領（ズボン）

項目	縫製細部要領
全般	許容差は、明示するものを除き、 ± 0.5 cmとする。
腰帯	1 腰帯は幅4.5 cmとし、前合わせ部は長さ4.5 cmの持ち出しとし、ドットボタン2組を打つ。 2 後部腰帯部はゴムを通す。 3 腰帯前面は芯を入れ飾り縫いとする。
前立て	1 スライドファスナ開閉式とし、飾りミシン幅は4 cm、前立て奥は裏地を挟み二つ折り縫いする。 2 ファスナ付けは二条縫いで縫着する。
ポケット	腰脇部に口幅16 cm（許容差 ± 1.0 cm）の切り込みポケットを設ける。
内股縫い	表地、裏地ともに地縫い片倒しとする。
尻縫い	表地は地縫い片倒し飾り縫いし、裏地は地縫い片倒しとする。
小股	表地、裏地とも地縫い片倒しとし、小股に本縫いミシンかんぬきを入れる。
裾口	裾口は幅3 cmの三つ折り縫いとし、裏地は裾縫いに十分に挟み込む。
脇縫い	両脇下部に開閉用スライドファスナを縫い付ける。

表8—寸法（本体）

単位：cm

種類	着丈	胸囲	肩幅	袖丈	裾回り	袖口	ボタン 間隔	センター ベンツ丈
特号	97	139	53	66	149	18.5	15	29
1号	94	136	51	64	146	18.5	14.5	28
2号	91	133	49	63	143	18	14	28
3号	88	130	48	61	140	17	13.5	27
4号	85	127	47	59	137	16	13.5	26
SS ^{a)}	—	—	—	—	—	—	—	—
許容差	+2 -1	+3 -1	± 1	± 1	+3 -1	± 0.5	± 0.5	± 1
注^{a)} “SS”の寸法は、調達要領指定書に示す。								

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

表8—寸法（本体）（続き）

単位：cm

種類	襟ボア丈	前開閉用スライドファスナ	返り襟丈
特号	48	32	24.5
1号	48	32	23.5
2号	47	30	23.0
3号	45	30	22.5
4号	45	30	22.0
SS ^{a)}	—	—	—
許容差	±1	±1	±0.5
注^{a)} “SS” の寸法は、調達要領指定書に示す。			

表9—寸法（ズボン）

単位：cm

種類	ズボン丈	股下	腰回り	渡り幅	裾口幅
特号	115	83	99	41	25.5
1号	112	81	96	41	25.0
2号	110	79	93	39	25.0
3号	106	76	90	38	24.5
4号	101	73	87	37	24.5
SS ^{a)}	—	—	—	—	—
許容差	±2	±1	+2 -1	±1	±0.5
注^{a)} “SS” の寸法は、調達要領指定書に示す。					

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

表10—寸法（ライナー）

単位：cm

種類	丈	胸囲	スライド ファスナ丈
特号	64	131	157
1号	62	128	148
2号	60	125	148
3号	58	122	139
4号	56	119	139
SS ^{a)}	—	—	—
許容差	±2	±2.5	±1
注^{a)} “SS” の寸法は、調達要領指定書に示す。			

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

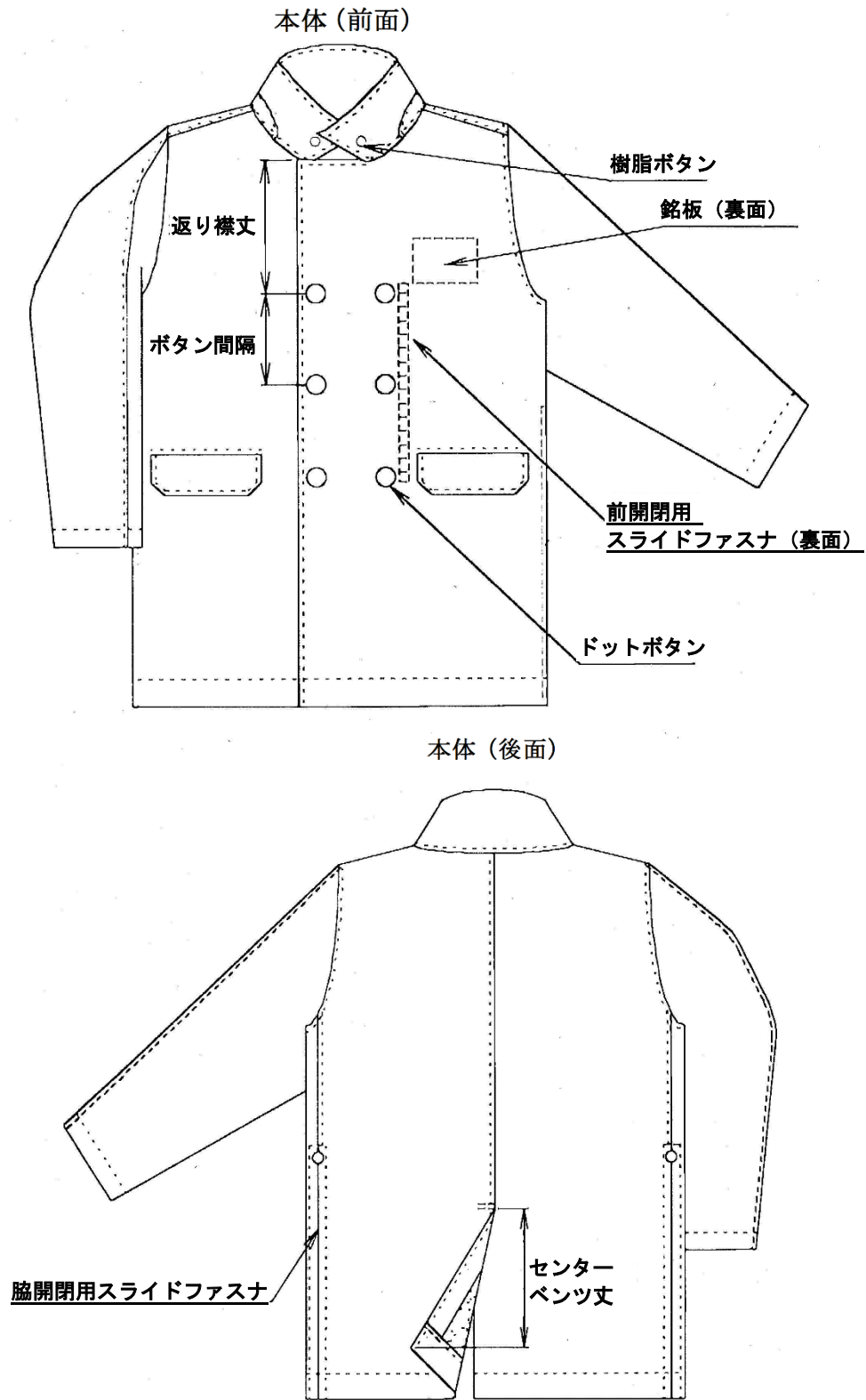


図1-形状

品名	警衛業務用防寒服
----	----------

単位：cm

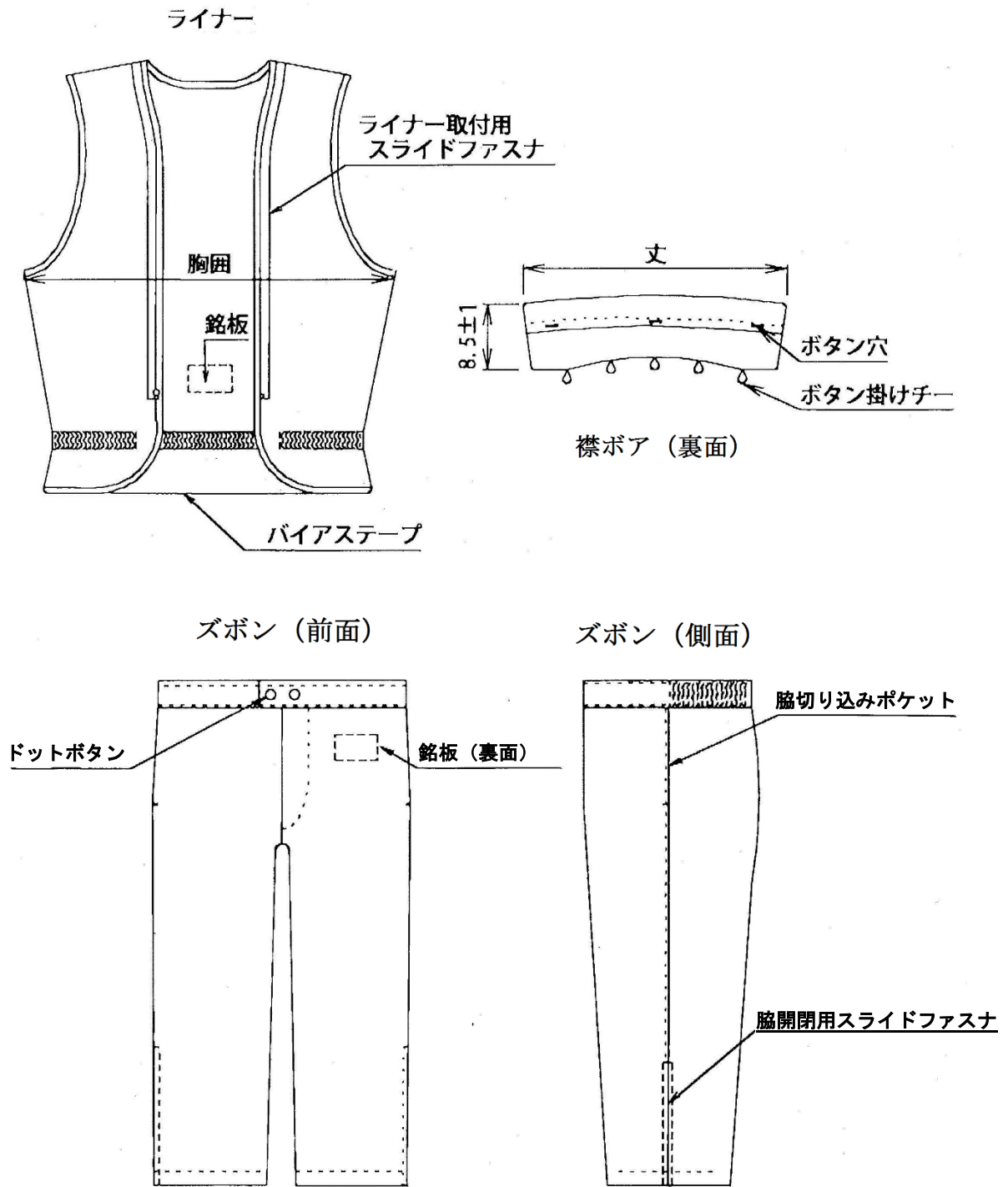
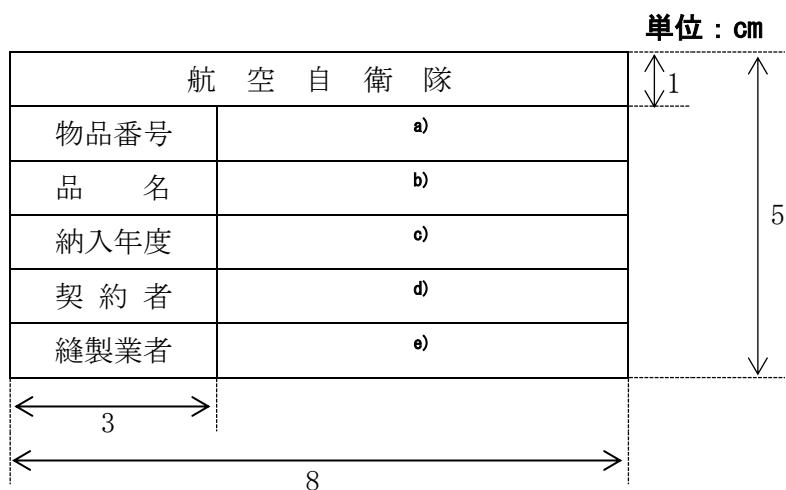


図2-形状・寸法

品名	警衛業務用防寒服
----	----------



注^{a)} 該当する物品番号を押印又は印刷する。

注^{b)} 該当する品名（製品の呼び方）を押印又は印刷する。

注^{c)} 納入年度を押印又は印刷する。

例 2024年度

注^{d)} 契約の相手方の名称又はその略号を押印又は印刷する。

注^{e)} 縫製業者を押印又は印刷する。

図3－銘板（製品表示用）